第４０回全日教連定期大会

６月11日（日）第４０回全日教連定期大会が、東京都の都市センターホテルで開催された。

香教連からは、高木委員長・塩崎副委員長（丸亀）・黒川事務局長（高松）・瀬戸幼児教育部長（高松）・相原執行委員（丸亀）の５名が参加した。

当日は、梁文部科学副大臣や萩生田自民党政調会長、佐々木さやか参議院議員（公明党）が列席し祝辞を述べられた。その中で、萩生田政調会長からは、「教職員の待遇改善は喫緊の問題。教職調整額を１０％に、各主任手当等の見直し及び新設、一人１台端末の次期入れ替えの国費利用は必ず実行していきます。」と力強い言葉をいただいた。その後、令和４年度の活動報告・会計決算の報告があった。

１０分間の休憩に続き、令和５年度の運動方針（学校事務職員部・女性教職員部・養護教諭部・高等学校部・栄養教諭、学校栄養職員部・管理職部・特別新教育部・幼児教育部）が提案され、満場一致で可決された。（全日教連幼児教育部長は瀬戸美奈子先生。６月号の全日教連新聞参照）

令和５年度予算審議の後、大会宣言が朗読され、承認されて定期大会は無事終了した。

声を届けてください！

○学校での困りごと
○御意見・御感想
何でもかまいません。
下のＱＲコードを読み取って、送信してください。抽選で、素敵なプレゼントをお送りします。

お詫びと訂正

香教連新聞６月号の単組選出、執行委員に間違いがありました。
大川　誤）朝日洋一
**　　正）平木義章**

丸亀市教職員協議会　評議員会

６月９日（金）１８：３０からピカラスタジアム会議室において、丸教協評議員会が開催された。各学校の現状や市教委への要望内容に対して、意見交換が行われた。学校によって下校時間が違うことやICT に関する不具合など様々な意見が出された。

高松市学校職員協議会　評議員会

６月１５日（木）１８：００から高学協は、評議員会をＺＯＯＭで開催した。

４月からを振り返り、どの学校も人手不足が原因の問題が山積していると報告の声が上がった。この声を市教委要望に反映させていく。

退職予定者セミナー

日時　８月１２日（土）
１４：００～１６：００
場所　香川県教育会館
第５会議室
講師　高学教元会長安部忠明 他

●参加者にはケーキセットを準備いたします。

近々退職を迎える方、再任用や退職後の保険など色々不安なことはありませんか？
退職された方から、アドバイスをもらえます。
どんな質問でも OK です。
是非たくさんの参加をお待ちしています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

ＱＲコードを読み取って、送信してください。または、kakyoren2021@gmail.com までメールをしてください。

研修会のお知らせ

特別でない特別支援教育を⑬　がまぐち先生

今回も「不親切教師のススメ」（松尾英明著）から中身の紹介の３例目。

同じ字を並べて掲示する意味は？

教室後方上部に、ずらりと並ぶ習字の掲示物。「大空」「雲」等、一律に同じ文字が書かれている。このような教室風景に違和感を持つ人は少ない。小学校の教室においてごくごく当たり前の掲示物である。

【筆者はこう続ける】

習字のお清書とは、お手本の字を可能な限りそっくりに真似て写す作業の結果である。確固たる正解があり、その再生能力の正確さを求めているわけである。つまり、本来的に個性発揮や表現のための成果物ではない。そう考えると、習字の清書を掲示するというのは、漢字テストや算数のワークテストの結果を並べて掲示するのとほぼ同義である。つまり、習字の清書は図工作品のように個性や創造性発揮による表現の結果の展示とは性質の全く異なるものであると言える。

教員に限らず特別支援教育関係に多少なりとも関心のある人なら、習字の清書の掲示物を見ただけで「ああ、この子は特別な問題を抱えているのだ」とわかる。

習字の掲示物とは本人の努力ではいかんともしがたい個人情報や能力を、必要以上に晒してしまっている場だとも言える。

それでも明確な目的があって掲示するというのならば、それはそれでいいのである。能力は平等ではないのだから、その結果も個人差が出て当然である。そこはかけっこと同じである。ただ、かけっこはもともと競い合うことを楽しむという目的に対し、習字や勉強の目的というのは、本質的にそこではない。

またその差を、わざわざ可視化して一年中教室に掲示しておくという行為自体、人権に配慮してのことなのかということが、ここでの大きな問題定義である。

【筆者は次の章でこう続ける】

習字を個性的な表現の掲示物として成立させるためにはどうするか。先に挙げた問題点が「一律に同じ字の手本を真似て書いた字を並べて比較する」ということなのだから、この逆を行けば良い。

【続きは、本書を購入してお読み下さい】

第１回教育セミナー

６月 16 日（金）19 時から教育会館３Ｆ会議室にて、令和５年度第１回教育セミナーを開催した。

「困った時に教師はどうすればいいのか」－学校現場のトラブルを法律から考える－と題して、香教連顧問弁護士の平井功祥氏（香川県弁護士会：平井法律事務所）、香川県教育文化研究所長の阪根健二氏（鳴門教育大学名誉教授）の対談方式で進められた。

学習権・懲戒権・正当防衛・スクールロイヤー制度・いじめの重大事態など学校現場で直面するだろう問題に法律家としての立場から非常に具体的でわかりやすい説明があった。

このセミナーは ZOOM によるハイブリッド形式で配信を行い、会場参加者や ZOOM 参加者から今直面している問題にどう対応したらいいのかといった質問が数多く出された。

問題を法律的にどうこうするといったところにこだわらずに、まずは問題が起きないような準備、問題が起きた時の初期対応、そして最終的な落とし所といったように普段から問題に対しての対応の仕方を意識しておくことや必ず単独ではなく管理職や学年主任と一緒に複数での対応を心がけるべきであることを学んだ。

今回のセミナーでは、学校現場には非常に多くの問題が散在しており、専門の立場の人からの助言が必要不可欠であることがわかった。第２回、第３回と今後もみんなで考えていく場を持っていきたい。

第５回採用試験対策部研修会

６月２４日（土）香川県教育会館にて第５回採用試験対策部研修会が開催された。香川大学准教授谷口弓恵先生を講師に迎え、集団面接に向けての講義を行った。

香教連からも、７名の先生方が面接官役で参加し、集団面接実習を５グループに分かれて実施した。「心構え」「話し方・聞き方」「服装」「入室・退室の仕方」など細かいところまで指導があった。

参加された講師の人からは、「私は、もっと笑顔で討議に参加できるようにしたい。」など前向きな感想がたくさん寄せられた。

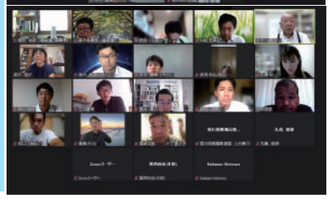
研修会終了後も、廊下や駐車場などで谷口先生や香教連の先生方を中心にいくつかの輪ができ、熱心にアドバイスをもらっている姿があった。全員が一次試験に合格してほしいと願わずにはいられない。第６回研修会は、８月１１日（金）である。（模擬授業と個人面接）

第１回会長・局長会議

６月25日（土）ＺＯＯＭによるＷＥＢ会議にて、第一回会長・局長会議を行った。

本年度の執行体制・活動方針・活動計画・専門部活動について・組織拡大について話し合いが行われた。

冒頭では、高木委員長から「組織拡大が喫緊の課題です。黙っていては入会してはくれません。足を使い、汗を流して、会員を増やしていく努力をしていきましょう。未来の香教連のために、これからの先生達のために、今が一番大切なときです。新規入会者獲得に向けて、各単組が目標を掲げて、取り組んでいきましょう。」と挨拶があった。



６月　業務抄

2 日	三豊観音寺教職員協議会定期大会
4 日	香教連定期大会
6 日	県教委定例会
9 日	県教委　総括要望
	丸亀市教職員協議会　評議員会
10 日	全日教連　執行委員会
11 日	全日教連　定期大会
12 日	第４次中央要請行動
15 日	高松市学校職員協議会評議員会 zoom
16 日	第１回教育セミナー
17・18 日	日本教文研　教問審委員会
23 日	香川県教育懇談会
24 日	第５回採用試験対策部研修会
	中堅教員研修会
25 日	第１回会長・局長会、執行委員会
28 日	人事委員会要望